

2018/9/1(土)13:50-16:50 (受付開始 13:00)

医療分野への AI の導入と将来展望

講座情報

今日、人工知能(AI)は医療分野においても幅広く活用され始めている。しかしながら、まだ一般的に AI を容易に活用することはできない状況があり、木村情報技術としては IBM Watson を活用し、初歩的なところから、医療分野での AI の具体的な活用事例を世に出している。例えば、製薬企業の医薬品 QA 集、添付文書、インタビューフォーム、それに関する文献などの基本的な内容に関して、医療従事者からの質問に答える AI を作り込んでいる。また、星薬科大学や慶應義塾大学薬学部とも共同研究を結び、AI の教師データとしての医薬品情報のコーパス化を手掛けている。今回の講座内容としては、実際に動いている AI や医薬品領域での AI 事例などを紹介します。

講演者情報

木村 隆夫

木村情報技術株式会社 代表取締役

プロフィール

1962 年／東京生まれ。星薬科大学卒業(薬剤師)後、山之内製薬に入社し、18 年間 MR として勤務。その内 15 年間は大学専属担当者として、講演会、セミナーなどの企画立上げ、コーディネートなどに 200 回以上携わる。

山之内製薬が藤沢薬品工業と合併して、アステラス製薬になる 2005 年に会社を早期退職し起業し、自宅のある佐賀の地に、木村情報技術株式会社を設立する。

製薬業界における Web 講演会のライブ配信サービスを新しい形として作り上げ、製薬企業約 60 社から Web 講演会を受託し、一年間 1,000 回、医療関係者約 40 万人に対してライブ配信を実施している。

2016 年からは、人工知能 IBM Watson のビジネス活用事業を積極的に取組み、人工知能の事業活用提案 TOP 企業として、現在多くの企業との間で新しいシステムを構築している。2017 年 2 月、Watson 事業において、IBM PWCL2017 で IBM Choice Award を受賞した。

参考サイト

木村情報技術株式会社 <http://www.k-idea.jp/>

AI 社内お問い合わせシステム「AI-Q」 <https://www.k-idea.jp/product/ai/ai-q.html>